

喪主あいさつ(喪主が夫の場合)⑤

本日はご多用のところ、皆様方には亡き妻のために、わざわざご会葬いただきまして、誠にありがとうございました。

おかげを持ちまして葬儀も滞りなく終えさせて頂きました。皆様方のあたたかいお心に見送られて、妻もきっと喜んで浄土におもむいたことと存じます。生前からいろいろとお世話をいただきました皆様方に、故人に代わり厚くお礼を申し上げます。

妻は行年六十七歳。現在の平均寿命を考えますれば、まだまだではございますが、これも天命と考え、諦め

ている次第でございます。今後は、わたくしども遺族に、故人存命中と変わらないご厚情を賜りますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

おかげさまで息子も孫達も元気ですが、取り敢えず私はよそ様にご迷惑のかからぬよう、妻の位牌を守ってこの家で生活するつもりでございます。どうぞ、これからも変わらぬお付き合いのほどをよろしく願います。

どうも本日はありがとうございました。

喪主あいさつ(喪主が妻の場合)⑥

本日は、お忙しいところ、夫・〇〇の告別式にご参列下さり最後までお見送り下さいましてありがとうございました。また多くの方々より御弔慰ならびにご香典を賜りましたこと、この場をおかりしまして厚くお礼申し上げます。

長い療養生活をいたしておりましたが、もう一度必ず再起できると本人も思い、私も信じておりましたが、けにやはり痛手でございます。

今となりましては、何を申しましても愚痴になりますが、せめて子供が一人前になりますまで、元気でいてほしかったと思います。

子供のことや生活のことを考えますと、一時はすっかり途方にくれてしまいましたが、まだ幼い子供たちの顔をみるにつけ、「私が頑張らねば」という気持ちになってまいります。俗に“石にかじりついて”という言葉がございますが、私もなりふりかまわず、全力で生きぬくことが故人へのなよりの供養かと存じます。

これからは残る二人の子供と一緒に生活してまいります。どうか、夫の生前同様のお付合いを頂きますようお願いいたします。

皆様本日はどうもありがとうございました。

親族代表のあいさつ

一言ごあいさつ申し上げます。私は故人の弟にあたりますものでございますが、喪主が年少の身でありますため、代わりましてお礼を申し述べさせていただきます。

本日は、皆さまご多用中にもかかわらず、わざわざご会葬のうえ、最後の見送りまでいただきまして、まことにありがとうございました。故人の霊もさだめし感謝いたしておることと存じます。

故人生前は一方ならずご厚誼にあずかり、また病氣中はお手あつてお見舞いもいただき深く感謝いたしま

す。

また本日の告別式も、かく盛大に営むことができましたのも、ひとえに皆さまのお力添えによるものとお礼のことばもございません。

遺族に対しまして、故人と同じようにご交際くださいますよう伏してお願い申し上げます。

はなはだ簡単ではございますが、遺族を代表いたしましてお礼のごあいさつをさせていただきます。お見送りまことにありがとうございました。